



ひまわり太鼓 20周年コンサート 報告

日時：2021年7月4日(日)

14時30分開場

15時00分開演

会場：彦根市みずほ文化センター

ひまわり太鼓

障がいを持つ子どもの保護者が集まり、情報交換の場として 1988 年に「ひまわりの会」を結成、余暇の充実を願って 2001 年に「ひまわり太鼓」親子チームを立ち上げました。始めた頃は太鼓なく、養護学校をお借りしたり、醤油樽を代用したりして打っていました。現在は自分たちの太鼓を持つことができ、スタッフの皆さんにも恵まれ、練習に励んできました。

2021 年は、活動を始めて 20 周年という節目の年となりました。20 周年記念コンサートを開催しようということになりましたが、コロナ禍のもとということもあり、難しい判断も多々ありました。でも、多くの方に支えていただいていたコンサートの実施につながりました。

支えていただいた関係者の皆さまには心から感謝しております。本当にありがとうございました。

2021 年 8 月

ひまわり太鼓 代表 石田 満子

◆◇◆プログラム◆◇◆

14：30 開場

15：00 開演

第一部 『アメノチハレ』 小林辰哉(GONNA) with 和太鼓疾風

第二部 『見上げた先に』 ひまわり太鼓 with Friends

17：30 閉演

◆開演前



コンサートは、会場のキャパの半数までの入場としました。完全予約制で、チケット購入者の連絡先を把握し、万一の時の連絡が取れるようにしました。受付での混雑を避けるため、来場者には予め駐車場や座席の配置図を送付し、当日は混乱・混雑なくスムーズに誘導できました。受付では検温、消毒、マスク着用などの感染症対策を徹底。チケットは来場者自らがもぎって箱の中に入れる、パンフレットも各自で取ってもらうなど、接触の機会をできるだけ減らす工夫を行いました。

◆第一部『アメノチハレ』



和太鼓
疾風

オープニングを飾るのは、日頃からひまわり太鼓との交流が深い『疾風～KAZE～』。年齢も性別も様々なメンバーで構成される地元和太鼓チームの力強い演奏に、会場からは大きな拍手が起こりました。

プロの和太鼓奏者・小林辰哉氏による『アメノチハレ』の公演は、コロナ禍の下で様々な思いや困難を抱える人へ送るメッセージ性があり、未来に向かう大きな希望とエネルギーを与えるものでした。

小林
辰哉



◆第二部 『見上げた先に』



人前での演奏の機会は、コロナ感染症が拡大して以降長く途絶えており、メンバーやスタッフはこの日を楽しみに準備を重ねてきました。コンサート当日、会場の温かい声援を受けながら、出演者全員が自分のパフォーマンスを思う存分披露しました。自分たちの活動の節目である記念コンサートでしたが、「見に来てくださるお客様に笑顔と元気を届けよう」というコンセプトで実施し、それが20年活動してきたひまわり太鼓の役割であると感じる時間でした。来場者アンケートからも「温かい演奏に涙が出た」「明日からがんばろうと思った」等のコメントをいただきました。

会場には、この日のためにひまわり応援団が準備してくれた横断幕が掲げられ、出演者も会場から元気をもらいながら、ともに作り上げた公演となりました。

